

農作業特報

魚津市
魚津市農業技術者協議会

水稻の生育は、順調に初期生育が確保されています。今後は、根量を増やし過剰な分げつを抑えるため、「溝掘り・中干し」を実施しましょう。

1 中干しに入る前に、確実に入水・排水するための溝を作る

中干しやその後の間断かん水を効率的に行うため、早急に溝掘りを行いましょ

- ① 土が軟らかいと掘りにくいので、事前に軽い田干しを行う。
- ② 溝は5mに1本を目安とし、水がたまっているところを重点的に掘る。
- ③ 枕地側の短辺にも溝を掘り、長辺に掘った溝と確実に連結する。
- ④ 溝は水尻に確実に連結する。



溝がしっかり残っている。



土が軟らか過ぎ、形が崩れている。

2 中干しは、田植後4週間まで（莖数15本/株程度を目途）に開始する

【中干しの効果】

- ① 土壌中の有害ガスを除去し、根の生育を健全にする。
- ② 過剰な分げつの発生を抑える。
- ③ 葉が立ち、稲の受光姿勢が良くなる。
- ④ 田面が硬くなり、コンバイン作業に備えることができる。

【中干しの程度】

中干しは5～7日間程度行い、田面に小さな亀裂が入り、“足跡が残る程度”まで干しましょう。

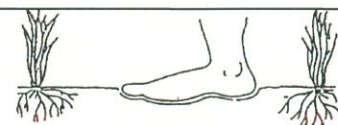
過繁茂になりやすい水田
乾きにくい湿田

田面に大きな亀裂が入るまで強く干す

乾きやすい砂地の水田

一度に強く干さず、田面に小さな亀裂が入る程度まで干す

足跡が残る程度



3 中干し後は「間断かん水」の実施

しっかり田んぼが干せた後は、幼穂形成期頃(7月上旬頃)まで「間断かん水」を行いましょ。

4 エスアイ加里の施用

ケイ酸やカリは稲体や根の活力を高め、背白・基白粒の発生を軽減する効果があります。作付前に土壌改良資材を施用していない場合や基肥一発肥料を使用している場合は、追肥で補いましょ。

肥料名	施用時期	施用量	留意事項
エスアイ加里らくだ	6月中～下旬	15kg/10a	湛水して散布してください
エスアイ加里カリ投げくん	6月中～下旬	4kg/10a	

5 後期除草剤の散布

雑草が残った場合は、雑草の種類に応じた後期剤を散布しましょ。

【雑草が残った場合】

適用雑草	除草剤名	散布量	散布時期	注意事項
ノビエや 広葉雑草	アクシズ MX 1キロ粒剤※2	1 kg/10a	田植後7日～ ノビエ4葉期まで (収穫45日前まで)	・5cm程度の深水にして散布し、その後7日間は止水管理とし、落水やかけ流しをしない。 ・散布後数日以内に異常高温が予想される場合は使用しない。
	テッケン ジャンボ※2	500g/10a	田植後15日～ ノビエ4葉期まで (収穫60日前まで)	・水の出入りを止めて6cm程の湛水状態を保ち、散布後7日間は落水やかけ流しをしない。 ・藻が多発しているほ場では使用しない ・散布後数日以内に異常高温が予想される場合は使用しない。
ノビエ	トドメMF 1キロ粒剤	1 kg/10a	田植後14日～ ノビエ5葉期まで (収穫50日前まで)	・5cm程度の深水にして散布し、その後7日間は止水管理とし、落水やかけ流しをしない。
広葉雑草	バサグラン 粒剤	3～4 kg /10a	田植後15～55日 (収穫60日前まで)	・落水して雑草を露出させ、晴天日を選んで散布する。散布後3～4日間は水を入れない。

※1 この他の除草剤等については、農協や振興センターにご相談ください。

※2 「やまだわら」には、アクシズMX1キロ粒剤、テッケンジャンボの除草剤を使用しないでください。